

## 令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	火山防災に関する知識の普及啓発と御嶽山の魅力発信事業
事業主体 (連絡先)	御嶽山火山マイスターネットワーク (副代表 小林夏樹 TEL 090-3473-5816 ✉ <a href="mailto:natsukoba710@ybb.ne.jp">natsukoba710@ybb.ne.jp</a> )
事業区分	安全・安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	713,116円 (うち支援金: 558,000円)

### 事業内容

- 御嶽山に造詣の深い元信大理学部教授の酒井潤一氏、及び現信大教育学部准教授の竹下欣宏氏を講師に迎え、オンラインによるリモート講演会を開催した。
- 木曾地域の小中学生と保護者を対象にして、御嶽山内へ火山マイスターが引率しフィールドワークを実施し、活火山御嶽の歴史や現況・魅力を伝えた。
- 御嶽山の開山シーズン中、登山者を対象にしたアンケートを実施。登山行動・防災知識・御嶽山の魅力等に関する意識調査を行った。
- 火山マイスターが今後活火山防災や御嶽の魅力発信活動に活用できる写真やデータを整理し、その一部は実際手持ちで使える資料としての制作を開始した。



【親子・御嶽崩れフィールドワーク】

### 【目標・ねらい】

- 御嶽山に関する知識を深め広める
- 次世代へ御嶽山に関する知識を継承
- 登山者への調査結果を防災等に活用
- 御嶽山資料の整理と情報発信活用

### ※自己評価【 B 】

#### 【理由】

- 講演会は感染症対策のためオンライン開催となったが、他地域からの聴講者も多く、アンケートも好反応だった。
- 親子とのフィールドワークではマイスター自身が工夫してレクチャーする等、自主的活動ができた。

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 酒井・竹下両先生による講演は今後の御嶽山の防災や魅力発信に活かせる大変有益なものだった。
- 県西部地震の跡地「御嶽崩れ」でのフィールドワークは、語り継ぐべき過去の災害の記憶と発災メカニズムを次世代に伝えた点で有意義だった。
- 登山者の意識調査の結果を地域で共有することは、活火山御嶽の防災・減災システムの構築、また観光誘導の推進などにも役立てられる。
- 御嶽山の写真や活火山の構造等を紹介した図面をまとめたファイルは、今後一般に情報発信する道具として活用できる。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- 過去2年にわたり本支援金を受け行ってきた事業で蓄積した写真や動画のデータの資料を整理し、今後はマイスター自身、あるいはネットワークの主催で一般の方に伝えていくために活用していく。
- 令和3年度の「地域発 元気づくり支援金事業」への申請については、マイスター自身が情報発信することに重点を置き、事業内容を企画する。
- 建設が進行中のビジターセンターが稼働開始後、火山マイスターがその運営の一端を担う可能性も見据え、山麓自治体や県との連携を保ちながら、火山防災意識の啓発と魅力発信を推進していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある